

九州北部豪雨 支援活動のご報告 Ver.02 (2018.Nov)

2017年7月、記録的な大雨が降った九州北部で大規模な豪雨被害が発生。A-PADジャパンの緊急支援チームは発災直後から福岡県や大分県の被災地で行方不明者の捜索や緊急支援物資の配布などを実施しました。ご支援いただいたみなさまに、これまでの活動について改めてご報告いたします。



緊急支援物資の調達・配送

発災直後からニーズ調査を開始し、自治体や企業などと協力しながら、避難所に下着や衛生用品、水・果物、電化製品などを届けました。



レスキュープロジェクト

行方不明者が多数出ている福岡県朝倉市などで救助犬による捜索を実施。ヘリからの上空視察を通じて被害状況の把握にも尽力しました。



車両や機材の貸与

農業ボランティアなどの派遣調整を担う各地の地元 NPO に車両や農機具などを貸与し、大分や福岡の復旧支援活動をサポートしました。



A-PAD ジャパンの活動地

福岡



大分





Voice ～被災地からたくさんの声が届きました

「今すぐ助けに行きたいけれど」

「くずれてきたあの土砂の下に親せきがいいます。今すぐ助けに行きたいけれど、自分たちではどうにもできないから」
—byレスキューチームに行方不明者の情報を知らせてくれた男性@福岡・朝倉市



「1人じゃないと伝えたい」

「細々とした困りごとの解決は地元の僕らにしかできないから」
—by車両を貸与したパートナーNPO@大分・日田市

「今日こそはぐっすり眠れそう！」

「避難所にある体育用のマットは硬くて寝づらい。これならふかふかでぐっすり眠れそう！」
—by支援物資のマットレスを受け取った子どもたち@福岡・朝倉市



「ビタミンきたー！」

「避難所ではおにぎりやカップ麺ばかり。新鮮なものが食べたかったから、嬉しい！」
—by佐賀から届いた果物を受け取った女性@福岡・東峰村

「3日ぶりの着替え、うれしか!!」

「雨で家に水が入り、ヘリで避難所までたどり着きました。ずぶ濡れのまま洗濯もできないでいたけれど、今やっと着替えられます」
—by緊急支援物資の下着を受け取った80代女性@福岡・朝倉市

「その速さにビックリ」

「依頼した翌日に希望した物資が届き、その速さに驚きました」
—by避難所の支援物資を管理する行政職員@福岡・朝倉市

「空飛ぶ医師団」より皆さまへ ご寄付のお礼とご報告

佐賀県「ふるさと納税」を通じたご寄付 820万円

A-PAD ジャパンの九州北部豪雨支援活動に対し、「ふるさと納税」(佐賀県 NPO 支援枠)を通じて、454 人の方から約 820 万円のご寄付を頂戴しました(2017 年 7 月 6 日～7 月 31 日)。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

九州北部豪雨の経験とネットワークは、今夏の西日本豪雨や北海道地震でも生かされています。

佐賀大学の医師や救助犬などで構成される A-PAD ジャパンの緊急チーム「空飛ぶ医師団」は、佐賀県のふるさと納税を通じた寄付など、多くの皆さまに支えられています。継続したご寄付が災害時に役立ちます。これからもよろしく願いいたします。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/457>

(期間：2018 年 11 月 1 日～2019 年 1 月 31 日)

gcf/457



A-PADジャパン

840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5ゼロワン佐賀ビル6F Tel:0952-20-2900 toiwase@apadm.org
<http://a-padj.org/index.html>



<https://www.facebook.com/apadjapan/>